

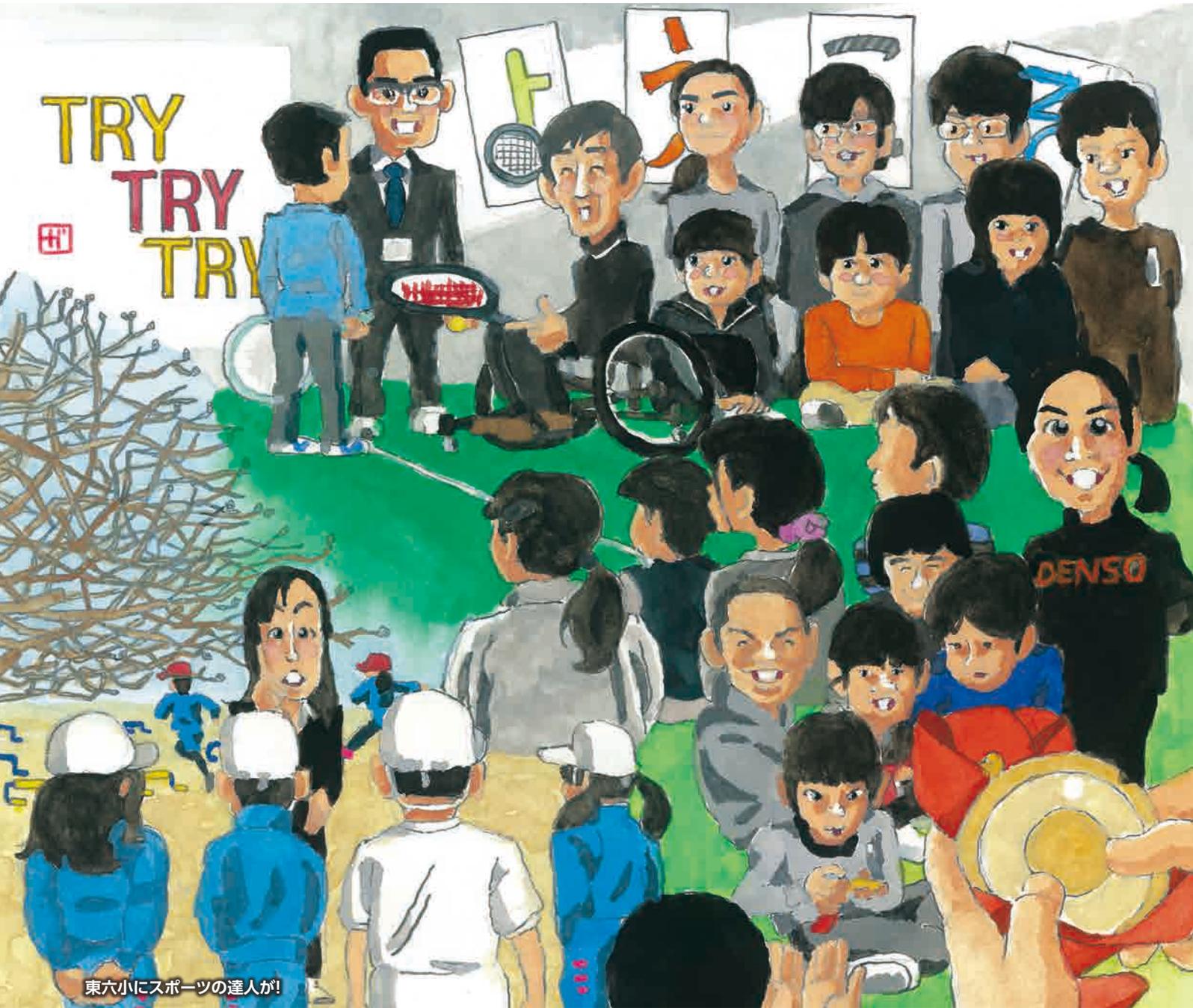


宮町のイベントキャラクター
みやっち

038PRESS

vol.20 春号

お み や プ レ ス



東六小にスポーツの達人が!

今季の特集
P2~P3

お宮町さくらものがたり

- P4…… 東六小から世界へ。～世界で活躍する人材の育成～
- P5…… 第20回お宮町なるほどツアー
- P6…… NEWS&TOPICS (地域情報)
- P7…… 東京余話 vol.14 / 第20回教えて浄圓房さん!
- P8…… 学校行事予定 / Omiyamachi ほっとすペーす No.07
/ ペットにまつわるワンダーランド第2回



編集

お！宮町地域情報編集局
〒980-0012 仙台市青葉区錦町二丁目4番48号
(東六コミュニティ・センター内)
TEL 090-7932-5021 (千葉)

ホームページ [038 プレスへようこそ](#)

ブログ [おみやプレスのブログ](#)

宮町商店街のホームページ お宮町・混む <http://omiyamachi.com/>



宮町地区の歴史に詳しい人によれば、エドヒガンザクラは明治6年に開校した東六番丁小よりはるかに長く根を下ろします。樹齢はおおよそ400年。時代とともに校名が変わってきた同小ですが、にぎやかな声とともに年輪を重ねてきたことに変わりはありません。

そんな桜も幾度も落雷などの災禍で衰弱。平成8年、樹木医による処置によって再

*** 災禍のち樹勢回復 ***

ひらひらと花びらが風に舞う。子どもたちのほらかな歌声が響く。ここ、お宮町に今年も春が巡ってきました。宮町地区に春の訪れを告げる「東六小の桜と音楽を愛でる会」が4月16日、仙台市立東六番丁小学校で開かれます。見ごろを迎えた校庭のエドヒガンザクラとともに音楽を楽しもうという催し。当日は地元の小、中学生グループが音楽演奏などを披露する予定です。

愛でる会は平成18年に始まりました。東日本大震災があつた23年は中断したものの、その後も地域の有志たちの手で継続。今回で10回目の節目を迎えます。会を支える人たちに話を聞きました。そこから見えてくるものは！。

お宮町

さくらものがたり

び、樹の勢力を取り戻したのだといいます。当時、処置に当たった樹木医の記録を見ると「枝の太さを治療前と比較すると、かなり成長してある程度は回復している」と記されています。

地域資源の桜を活かし、にぎわいづくりにつなげた

い。

こうして「桜と音楽を愛でる会」が生まれました。

*** 引き継ぐ地域への思い ***

当初から愛でる会の運営に携わる菊池ゆう子さんは小学校の5・6年生時代を東六番丁小で過ごしました。運動会や級友たちとの語らいなど、少女時代の思い出はエドヒガンザクラとともに刻まれています。「校庭の桜は宮町のシンボルの存在。それを介して地域の人が



毎年恒例となった桜の下での同窓会

集まる機会にしかかった。毎年大勢の人たちに楽しんでもらっている」と手応えを感じます。

同小同窓会長 昭和23年卒 〓 会の実行委員長も務める今泉清二さんも「桜の周りを駆ける子どもたちの姿は今も昔も同じ。卒業生にとって桜は心のふるさと」と万感の思いを口にします。そして「大人から子どもまで一堂に集まり、地域のにぎわいづくりにつながっている」と力を込めました。

ひと昔前まで学校は地域住民の交流拠点の役割を担っていました。同小のように交流の場として校舎を積極的に開放する例はそれほど多くはないでしょう。愛でる会が始まって間もないころに校長として赴任した渡部力さんは「人と人とを結び付ける手本のようなイベントだと感じた」と振り返ります。さらに「背景には宮町で暮らす人たちの地域への強い思いがあるのだと思う。これからも地域のあるべき姿を掲げ、(所期の)精神を引き継いでいってほしい」と熱っぽく語りました。

時代の歩み、桜とともに

長い年月、風雨にさらされ傷だらけ。それでも生き続ける。存在感を発揮するのは満開を迎える春だけ。桜の生きる姿は、山あり谷ありのマラソンに例えらるる人生に、どこか重なります。これも、日本人が桜を愛する理由の一つなのかもしれません。

ある日曜の午後。東六番丁小の校庭にはボールを追いかける少年たちの姿がありました。



そこから少し目を移すと高層ビルや集合住宅群、鉄道の高架橋が視界に入ります。

地域の姿とそこで暮らす人びとは時代とともに変わる。10代にも満たないエドヒガンザクラは半世紀近くもの間、かいわいの移り変わりを見守り続けてきました。これからも宮町で生きる人たちとともに呼吸を続けることでしょう。

同小の小野順校長は「桜を中心に地域の皆さんが力を合わせて交流することは大いに意義深い。地域の新しい伝統にもなりつつある」と期待感を示します。お互いの顔の見える地域コミュニティを築きたい、と始まった愛でる会。携わる人たちの思いは単に桜を楽しむだけだけでなく、「地域の再生」にもつながることを信じ、前を向きます。

水沼 幸三



第10回東六小の桜と音楽を愛でる会

会場 | 仙台市立東六番丁小学校・体育館・校庭

日時 | 平成28年4月16日(土曜日)

開場 | 10:30~

【演奏】11:00~ 【閉会】15:00迄

演奏は体育館で行います。

主催 | 東六地区連合町内会

東六小の桜と音楽を愛でる会実行委員会

出店 | 宮町商店街の美味しい飲食店が出店

お問い合わせ

仙台市立東六番丁小学校:

代表 022 (222) 4216

実行委員会:

小田桐 022 (221) 4021

東六番丁小の桜をめぐる、さまざまな人に話を聞きました。「人と人をつなぐ桜」地域の象徴「卒業生の心のふるさと」...

飛び出す思いの数々に桜への愛をヒシヒシと感じました。そして考えるのです。なぜ、それほどまで桜は人びとを魅了するのか。疑問は深まるばかり。

考えあぐねる筆者に本紙の海老一朗主筆が2冊の本を教えてくださいました。新渡戸稲造著「武士道」(岩波文庫)とドナルド・キーン著「二つの母国に生きて」(朝日文庫)。

新渡戸はバラの花を例えに出し、日本人と欧州人の美意識や死生観の違いを指摘します。「桜花はその美のしたに刃をも毒をも潜めず自然の召しままに生を棄て、その色は華美ならず」。

一方、キーンは吉田兼好の「徒然草」の一節「世は定めなきそいみじけれ(この世は無常だからこそ素晴らしい)」を引き「桜は『定めなき』性質のおかげで貴ばれている」と説明します。

その上で「咲いたと思っても風に襲われて散ることもある。咲いているうちに美しさを満喫しなければ同じ機会はまたこない」と書くのです。

新渡戸とキーンの言葉から「諸行無常」や「一期一会」といった桜に対する日本人の感慨が浮かび上がります。桜に特別な解釈を与え、人生を投影して見る。桜に惹かれる理由が少し分かりました。

そして、そこに「記憶」という甘美な郷愁が加わって、桜は地域の中でより特別な存在となっていく。

「東六小の桜と音楽を愛でる会」はその延長線上にあるのです。

東六小から世界へ。

～世界で活躍する人材の育成～

「What do you want to be? (あなたは将来何になりたいの?)」「I want to be a singer (歌手になりたいの)」音楽のリズムに合わせて、時にはジェスチャーも交えながら渡邊幸恵先生と子どもたちが英語で楽しそうにやり取りをしています。去る2月12日(金)に東六小学校で行われた仙台市小学校教育研究会外国語部会の公開授業の様子です。

実は小学校における英語の授業は平成23年より週に一コマで既にスタートしており、平成30年に5、6年生の正式な教科に加えられることが決まっています。研究会では「英語に慣れ親しみ、進んでコミュニケーションを図ろうとする児童の育成」を目標に授業の研究を行っているのです。

英語は中学校から、というこれまでの流れを大きく変えることに、現場の課題はあるのでしょうか。東六小の小野順校長は「小学校の教員の中で、英語の免許を併せ持っている人が少ないのが現状で、そもそも教員が英語に不慣れなところに大きな課題がある」と指摘しています。一方で、宮城教育大学では小学校の教員を目指す学生にも英語科目を履修させるなどの取り組みがスタートしています。

世の中には、「英語よりも先に日本語をきちんと教えるべき」という意見もありますが、小野校長は「子どもたちが英語をひとつのツールとして活用し、コミュニケーションの幅を広げていくことに期待しています」と話します。事実、小学校ではコミュニケーションを中心とした授業が工夫されていて、以前のような文法中心の英語の授業とは大きく違っているのです。

英語教育を積極的に進めていかざるを得ない日本の事情もあります。人口減少、少子高齢化などの課題を抱える日本。日本国内にだけ留まっていたら、経済は縮小の一途です。ビジネスのフィールドも世界を視野に入れていかなければなりません。

最近話題のインバウンド^{*}という点で外国の観光客を増やそうとしたときに重要となるのは、地域の人々の語学力やおもてなしの心です。以前飛騨高山に行った際に驚いたことは、店先で高齢の店主が「テイスティング、プリーズ」と言って外国人に英語で試食を勧めているのです。地域にこのくらいの食欲が無いと、インバウンドでは成功しないのです。宮町商店街でも、外国人向けの接客講座やメニューの作り方などの研修会をスタートさせています。

国際化のためには、言葉だけでなく、歴史や習慣の違いを互いに理解することも重要です。東六小から世界へ。この地域からたくさんの国際的な人材が輩出される取り組みが始まっています。

^{*}旅行・ホテルなど観光産業の用語で、外国人旅行者を自国へ誘致することの意。インバウンドの促進は宿泊、移動、飲食、土産など、地方都市においても経済効果が大きいとされている。



第20回お宮町なるほどツアー 身近な商店街を巡る旅

今回は宮町通りと北四番丁通りが交差するあたりのお店を紹介します。どのお店からも地元に着し、地元で愛されている店づくりを目指す意気込みを感じることが出来ました。



人々の美と健康をつくり、幸福を提供する やすらぎ整骨院宮町院

「心身ともに安らぎを」をモットーに、市内2店舗を展開しています。どこに行っても何をしても良くなかった頑固な痛みも、10種類の療法を状況に応じて組み合わせながら治療。骨盤や背骨、股関節の矯正によって、痛みの原因を根本から正していく「根治治療」に力を注いでいます。「東北初導入」という「アイトレ」は目の周りの筋肉をほぐし、近眼・老眼の方の視力を画期的に改善、目から来る肩こり、頭痛の改善にも効果があるそうです。他にも筋肉・骨格のゆがみを根本的に改善することで理想の小顔を実現する「SBR小顔矯正」にも力を注いでいます。一度お試しあれ。

営 9:00～13:00 15:00～21:00 休 日曜・祝日（水曜日：午後休診）
住 青葉区宮町3-3-38 Tel 022-213-3241 HP <http://www.yasuragido.jp>



主任の千葉隆さん



キッズスペース

「038 プレスを見た」で
①マッサージ10分
②岩盤ベッド20分
③頸椎・胸椎・腰椎矯正
④アイトレ15分
⑤定つぼマッサージ10分
のうち2つサービス
有効期限 平成28年4月30日



明るいくらしに奉仕する店 スーパー八百ふじ宮町店

八百ふじは、生鮮食品や手作り惣菜、ローザンヌのパンなど、日常生活に必要な物は何でも揃う店です。店頭には本日の目玉商品、旬の野菜や果物が並んでいます。「生産者から直接仕入れる野菜を味わってください。新鮮で美味しいです」と店長の臺野学さん。店の奥、魚コーナーも人気で、鮮度のよい魚を求めて、飲食店の人が仕入れに来るほどです。毎月第4日曜日の午前中開かれる朝市では、マグロの解体ショーが行われ、解体したマグロが格安で提供される他、じゃんけん大会の勝者には中落ちがプレゼントされるなど、お楽しみ満載です。買い物した商品の配達サービスもあります。

営 10:00～20:00 休 年中無休（1月1、2日は休業）
住 青葉区宮町3-9-5 Tel 022-221-2012 HP <http://yaofuji.com>



店長の臺野学さん



元漁師が作るお弁当とお惣菜の店 まかない屋宮町店

取材中も、次々とお客が来る繁盛店。店主の中村さんは、石巻で漁師、魚屋を経て、平成24年7月に弁当と惣菜の店を開店しました。一番人気は日替わり弁当（500円）で、ボリュームたっぷり。希望に応じて会議やイベントなどの特注の弁当も受け付けています。他にも大皿のオードブルやおせち料理などもラインナップ。旬の限定弁当（鰻弁当、いくら丼など）は中村さん曰く「採算度外視のサプライズな内容」で、発売はツイッターでお知らせ。固定ファンも多く、すぐに売り切れてしまうそうです。

営 11:00～19:00 休 日曜・祝日 住 青葉区宮町4-6-29
Tel 022-399-7118 SNS <https://twitter.com/makanaiya49>



店主の中村司さん



「038 プレスを見た」で500円の弁当を50円引き
有効期限 平成28年4月30日
お一人様一回限り

次回のご案内

今回は右の3店を巡ります。参加希望の方は、氏名・連絡先を明記のうえ、メール、またはFAXでお申込みください。

- ① 洋食酒場SPUNTO (スプント)
- ② 宮町メガネ館
- ③ 紺野生花店

メール info038press@gmail.com
FAX 022-223-7988

日時 平成28年4月23日 14:30～16:30
集合場所 14:30 ペットショップさまん前集合
参加費 1000円 お買い物どうぞ!!

市道宮町通線が 自転車マナー・モデル地区に

仙台市では「杜の都の自転車プラン」に基づき、平成28年3月1日から、市道宮町通線において、自転車専用通行帯および矢羽根表示の供用を開始しました。

自転車は車両であり、車道の左端部分の通行が原則ですが、歩道を通行する自転車が多く、歩行者と接触しそうになるなどの危険が生じていました。そこで、より安全・安心な道路空間とするため、自転車専用通行帯等の整備を進め、平成28年3月1日より、宮町通りは自転車専用通行帯の運用を開始、自転車は車と同じ方向で自転車専用通行帯を走る事となりました。

注意事項

自転車は歩道を通行しない

自転車が車と反対方向を通る場合は、自転車から降りて歩道を歩く
例外

13歳未満の幼児や児童、70歳以上の高齢者は、歩道の中央より車道寄りの部分を徐行して走行することが可能



東六小スクバンが 県庁ロビーコンサートに出演

『お屋のひととき 響き渡るハーモニー』

1月27日(水)、県庁1階で行われた「杜の都信用金庫 県民ロビーコンサート」に、東六番丁小スクバンが出演しました。同コンサートへの小学生の出演はなんと8年ぶりとのこと。

「花は咲く」「昭和アイドルメロデー」など6曲を披露し、元気いっぱいの演奏で350人ほどのお客様を楽しませていました。



038 プレス編集部が 壁新聞づくりにアドバイス

若者社会参画事業成果発表会

仙台市の若者たちが取り組んできた地域活動の成果報告会が2月13日、せんだいメディアテークでありました。青葉区や太白区など5区の大学生グループが地域情報を伝えるフリーペーパー作りなどの事例を披露。活動から学んだことを振り返りました。

このうち、壁新聞を作成した宮城野区^{もり}の発表では、5人の学生たちが登壇。昨年、開業した仙台うみの杜水族館や市営地下鉄東西線取材。本紙の千葉富士男編集長らの助言を受けながら、壁新聞づくりに挑戦したことを説明しました。

学生の一人はインタビュー取材で苦労した点を挙げ「聞きたいことを整理して質問することが難しかった。取材前の下準備が大切だと感じた」と語りました。

別の学生は、取材や原稿作りで多くの社会人と関わったことに触れ、「活動で出会った大人たちから刺激を受けた。壁新聞を通して街づくりに興味を持った。自分なりに考え、行動していきたい」と力を込めました。

発表会は若者たちに地域への関心を高めてもらう「若者社会参画型学習推進事業」の一環として、同市が開きました。

NEWS & TOPICS

地域情報

北六学区2連合町内会が防災で表彰

防災・減災に貢献した団体として北六地区連合町内会と中江地区町内会連合会が、連名で表彰されました。

学区を同じくする2連合町内会が、密接に連携し地域の防災力の充実・強化に貢献したことが、認められこの度、防災ボランティア表彰を受けられました。おめでとうございます。



小田原復興公営住宅・自治会設立に向け 映画上映会

平成28年2月14日、小田原復興公営住宅の集会所では「懐かしい映画を見る会を通じた元気プロジェクト」が開催されました。この上映会は小田原復興公営住宅の入居者のコミュニティ再生を促進するための事業として、みやぎ連携復興センターと地域情報誌038プレスが協力し、TOTO株式会社のグループ募金より支援を受け企画されました。東六地区連合町内会や青葉区まちづくり推進課の協力により、東六地区社協・東六地区民児協・東六地区日赤奉仕団との連携のもと、コミュニティ再生支援環境の強化を図った事業となり、入居者は宮町商店街の「まかない屋」さんの美味しいお弁当に舌鼓を打ち、「青い山脈」と「嵐を呼ぶ男」の上映に見入り、「懐かしい」「若い時分を思い出す」と交流の輪が広がりました。3月20日には自治会形成のため設立総会も開催、新たな自治会のスタートを切りました。



東京に大地震

私が住む東京都中野区では月に2回、区報が全戸に配られる。2月20日号のメイン記事は、東日本大震災から5年前に編集した「東京に大地震」その時あなたと家族を守るポイント」という特集だった。

東京が災害や気象の異変にすぐ弱くは、住んでみればすぐ分かる。「3・11」では都市の機能が麻痺し、帰宅できない人で街が埋め尽くされた。この1月には、大した雪ではないのに交通がめっちゃくちゃになり、私も電車に乗るまでに2時間、会社に着くまでにさらに1時間かかった（普段は家から40分）。駅は人手不足で情報提供もままならず、近くの交番から助っ人でやってきた警官がいらいらだつ乗客にどなられ、「私は駅員じゃない。ボランティアでやってるんだ！」と言い返す場面にも出くわした。

東京の都市機能がこんなに弱いのは、インフラの能力を上回る人が集まっているからだろう。普段はやり過ぎても、何かあると対応できなくなる。そのうえ、鉄道で言えば、高度にネットワーク化されたため、どこかに破綻が生じれば次々と影響が広がる。建物火災なら、扉などで空間的なつながりを遮断して拡大を防ぐとするが、「つながり＝利便さ」を追求する交通網の整備は防災に逆行しているように思える。

それにしても、この社会はなぜこうも利便さやスピードを求め続けるのだろう。進歩を前提とした社会システムの宿命？でも、それとは別の価値観が必要なることを東日本大震災から教えられたはずだった。

東京が大震災に見舞われれば、おそらく大混乱に陥る。便利で何でもそろった巨大都市に、真逆の光景が出現するだろう。自宅マンション1階のゴミ箱に、チラシとともに2月20日号の区報が何冊もポイ捨てされているのを見て、そんな予感がした。



大震災への対応を集めた中野区の区報(2月20日号)



雪で大混乱した東京の鉄道。駅に着いてホームにたどり着くまでに2時間かかった(1月18日)

第20回



生き残った白虎隊士

ねえねえ！浄内房さん、宮町の近くに歴女さんがたくさん集まる場所があるらしいと聞きました！
そうなんじゃあ！

なんと生き残った白虎隊士、飯沼貞吉は仙台で生活し、わが町にその碑が残っておる。

幕末の戊辰戦争、会津の飯盛山で自刃した白虎隊員の歳は数えて16と17で、今なら中学三年か高校一年の少年たちじゃった。酷いもの。

慶応4年(1868年)8月23日未明、薩長軍の猛攻を避け飯盛山に退いた白虎隊は「捕虜になって敵の恥辱を受けるより、いさぎよく自刃し武士の本分を明らかにする」道を選ぶ。しかし急所がはずれたのか、奇跡的に一命を取り留めた隊員が一人いた。その隊員は瀕死状態で救出されたが薩長軍の捕虜として捕らえられたと聞く。

会津討伐を率いた長州藩士であった榎三は、戊辰戦争で官軍の東山道先鋒軍中隊長として各地を転戦、会津若松城陥落後には奥羽越列藩同盟の捕虜460余名を江戸へ護送する役目も担っていた。

頼三の給領地、長州小杉(現山口県美祿市)では、地元で幕末から言伝えられる逸話が残り「明治元年12月雪の降る寒い日、頼三は小杉に帰郷。この時、乗馬する馬の轡を取る十五、六の少年を連れていた。少年は会津出身で、自分が書生として面倒をみるつもりだ」と、出迎えた者達に話したとされる。頼三は、少年のことを「サタさあ(さん)」と呼んでいたという。彼こそが、蘇生した白虎隊士、飯沼貞吉その人だったんじゃ。

朝敵の汚名を着せられ壮絶な最後を遂げた会津領家老・西郷頼母の妻千重子は貞吉の父の妹という家柄に生まれた貞吉にとつて、会津を朝敵たらしめた



錦町の光禪寺には、飯沼貞吉が通信省を退職後居住した地に「蘇生白虎隊士飯沼貞吉終焉の地」の碑(1991年)と貞雄の直系孫3人の建立となる説明板(2013年)が設置されている。

薩長軍の捕虜になる事は恥辱で、ましてやその長州士族に庇護を受ける事は屈辱の日々であったかもしれない。事実、貞吉の身の回りの世話をした高見家の娘が孫子に語り継いだ話によると、頼三を囲む宴の際、村人の一人が貞吉に「生きていてよかったの」と言ったところ、貞吉が土間に飛び降りて自決しようとしたらしい。しかし、頼三が「今、日本には外国船が押し寄せており、会津・長州と言っている場合ではない。日本人は団結して国を強くしなくてはならず、その担い手は若者だ。国の役に立てるよう勉強せよ」と諭し、以降貞吉は「心不乱に勉学に励んだと密かに語り継がれていたという。」

貞吉を死から生へと導いた邂逅は、「事実小説より奇なり」数奇な運命そのものじゃ。

貞吉は名前を変え飯沼貞雄となり、明治5年に工部省の技術教場(東京)に入所し電信技師となり、明治27年日清戦争では大本営付となり技術部総督(階級は陸軍歩兵大尉)として出征。明治43年に仙台通信管理局工務部長に就任、日本の電信電話の発展に貢献し、晩年、仙台に住み生活したんじゃ。

へえ、そうなんだあ！そんな有名な人が近くに住んでいたなんて知らなかったね！

宮城県の小学6年生の修学旅行先と言えば、かつては会津若松の鶴ヶ城と飯盛山が定番だったが、東日本大震災後、ほぼ全ての小学校の修学旅行先は福島ではなくなつたと聞く。悲しいのう！被災後5年が経ち、復興は道半ばであり、福島の出る道のりは宮城のそれよりも遙かに長い。だからこそ、昔の宮城県民の修学旅行よろしく、福島に出掛けよう！そう私は言いたいんじゃ！

ねえねえ！福島に行こう！そうしようっ！

文/千葉富士男
イラスト/がんじー

(*) 貞吉自身の回顧談。

(**) 工部省は、明治政府の官庁の1つで、太政官制度の下で殖産興業を支えた中央官庁である。

◆東六番丁小学校	
4月8日(金)	始業式・入学式
4月16日(土)	東六小の桜と音楽を愛でる会
5月28日(土)	運動会

◆五城中学校	
4月11日(月)	入学式
6月11日(土)～13日(月)	仙台市中総体

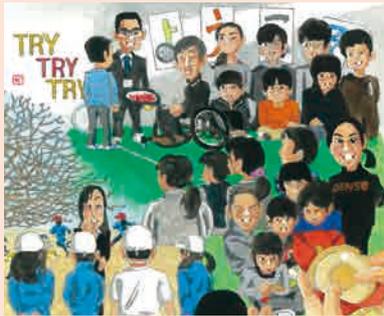
◆北六番丁小学校	
4月8日(金)	始業式・入学式
5月29日(日)	北六学区大運動会 2016 (予定)
6月16日(木)	開校記念日

◆常盤木学園高校	
4月8日(金)	入学式
4月28日(木)	音楽科コンサート『未来への翼』イズミティ 21
6月4日(土)～6日(月)	宮城県高校総体

何気ない風景に溶け込んだ『まちの一コマ』

Omiyamachi ほっとすペーパー No. 07

今号の表紙画 『東六小にスポーツの達人が!』



来たる2020年東京オリンピックに向けて、東六番丁小学校ですてきな特別授業がおこなわれました。

車いすのテニスプレーヤー新田さんとのテニス対決、100mハードル元日本記録保持者の大朝さんによる熱血ハードル教室、女子ソフトボール日本代表のピッチャー染谷さんは持参した金メダルを披露。特別な思い出としてみんなの心に刻まれたことでしょう。(がんじー)

春を待ち望む木々たち



身近なスポットとして公園に着目し、人と同じように春を待ち望む木々たちへ視線を移してみました。
お宮町の木々たちも春の息吹をそっと待っています。
長い期間にわたって子どもたちを見てた木々たち。
写真は仙台東照宮のしだれ桜です。

ニホンザルの毛づくろい(グルーミング)は、ノミ取りの意味だけではなく重要なコミュニケーション機能も持っていることがわかりました。お互いの地位を知ることができたり、お互いのストレス発散に役立っていたのです。
人間は、毛づくろいの代わりに言葉を使ったり、ボランテニア活動(利他的行動)をすることで困難な時が来ても生き延びる術を身につけたのです。
ニホンザルの毛づくろいは、1日のうち10%～20%を行っているそうです。それを考えれば私たち人間も1日のうち1～2時間を相手のために話したり、ボランテニア活動をする時間に充てること、その人自身は、もちろん多くの人々が幸せな時間を過ごせるようになるのです。お互いが、相手を思いやることができる人間になりたいですね!
ペットショップさま 佐藤 広行

動物から学ぶ。

ペットから学ぶ(第2回)

◆SPECIAL THANKS ご協賛へ感謝を込めて



アエル株式会社 様
仙台市青葉区中央1丁目3-1
TEL: 022-723-8000



**西松建設株式会社
北日本支社 様**
仙台市青葉区大町2-8-33
TEL 022-261-8161

資産運用と有効利用のベストパートナー
株式会社マイザ 様
仙台市太白区長町3-4-16
TEL: 022-247-9830

**株式会社
アサヒ建築設計事務所 様**
仙台市太白区長町3-4-16
TEL: 022-247-5230

協同組合みやぎ
マルチメディア・マジック 様

この情報紙は、地域の情報発信と共有を通じ、地域活性化につなげることを目的としたフリーペーパーです。この趣旨に賛同いただき、より多くの企業や団体、個人の皆様のご協賛を通じて事業を支えてくださいますよう、お願い申し上げます。

編集メンバー

主筆 三嶋伸一

編集長 水沼幸三

編集委員 和田政宗

千葉富士男 (50音順)

顧問 今泉清二

アドバイザー 内海睦夫

加納実 イラスト がんじー

鹿野恵美子

加納実

菊池ゆう子

木村くみ

佐々木敦斗

佐藤正則

佐藤正則

佐藤靖

穴戸俊彦

高橋孝敏

永田良治

針生英一

三岡昭博

編集後記

はじめまして！今号から編集委員に加わった佐々木敦斗と申します。若手県盛岡市出身で社会人3年目の25歳です。

私は昨春秋、「故郷・東北のために働きたい」と転職して仙台にやってきました。仕事をしつつ、何か地域のための活動ができないかと考えていたときに出会ったのが038プレスでした。

きめ細やかな情報を盛り込んだカラフルな紙面の充実ぶりはもちろん、お店をめぐるツアーや小学校への出前講義など、地域を盛り上げる具体的な活動にも展開していることを知り、興味を持ちました。自分が住むすぐ近くの地域が取り上げられていくことも縁を感じています。

もともと記者をしていたこともあり、その経験を活かしながら、読者のみなさんが地域の魅力を再発見できるような記事を発信していきたいと思えます。取材に伺うこともあるかと思いますが、これからよろしくお願ひいたします！

佐々木敦斗

038 プレス info



ブログ



ホームページ